

本日の講演内容

1. 石川県の口腔がん治療施設の連携
2. 日本人の「がん」について
3. がん対策における「歯科」の役割
4. 金沢大学における口腔がん治療の現状
5. 歯科と関連する口腔がんについて

1. 日本の最新がん統計まとめ

1. 2016年にがんで死亡した人は
372,986例
(男性219,785例、女性153,201
例)。

2. 2013年に新たに診断されたがん (罹
患全
生涯でがん罹患する確率は、
男性62% (男性428,720例、女性46% (2,7321
人)例)。

2. がん死亡

1. 男性では、40歳以上で消化器系のがん（胃、大腸、肝臓）の死亡が多くを占めるが、70歳代以上ではその割合はやや減少し、肺がんと前立腺がんの割合が増加する。

2. 女性では、40歳代では乳がん、子宮がん、卵巣がんの死亡が多くを占めるが、高齢になるほどその割合は減少し、消化器系（胃、大腸、肝臓）と肺がんの割合が増加する。

生涯でがんで死亡する確率は、(2016年推計値)

男性25%（4人に1人）、女性16%（6人に1人）。

●2013年の罹患数（全国推計値）が多い部位は順に

	1位	2位	3位	4位	5位	
男性	胃	肺	大腸	前立腺	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸5位
女性	乳房	大腸	胃	肺	子宮	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸7位
男女計	胃	大腸	肺	乳房	前立腺	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸6位

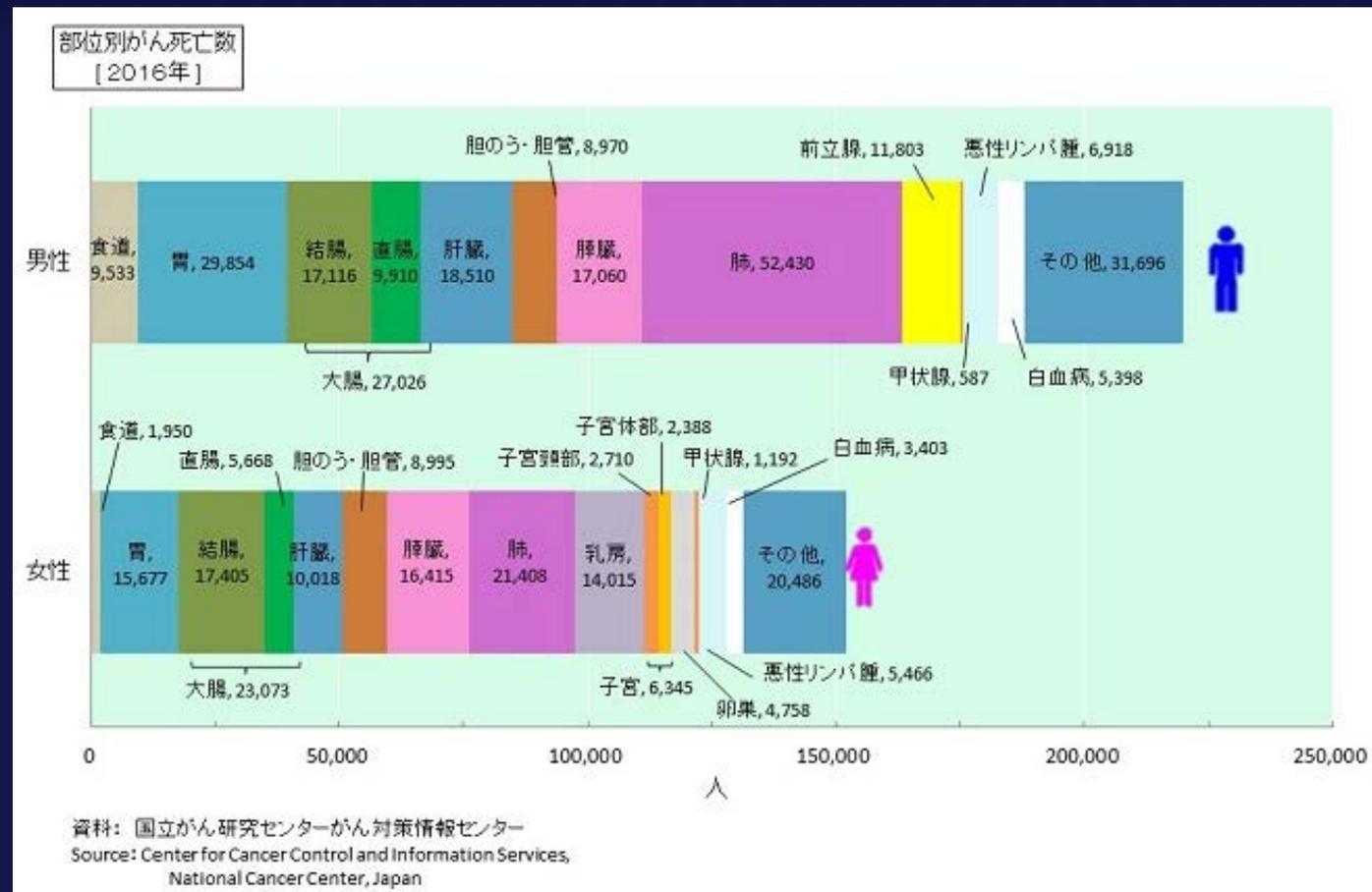
●2016年の死亡数が多い部位は順に

	1位	2位	3位	4位	5位	
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸2位、直腸9位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸7位

男女とも胃癌は減少、肝癌はやや減少傾向
肺癌、大腸癌はやや増加傾向にある。

男の前立腺癌、女の乳癌は明らかな増加傾向

男女別、部位別、がん死亡者数



●その他の部位の死亡数 (2016年)

性別	口腔・咽頭	喉頭	皮膚	膀胱	腎臓など	脳・中枢神経系	多発性骨髄腫
男性	5,396	856	754	5,792	6,009	1,471	2,205
女性	2,279	88	799	2,640	3,341	1,155	2,179

部位別がん罹患率
(全年齢)
[男性 2013年]



資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services,
National Cancer Center, Japan

部位別がん罹患率
(全年齢)
[女性 2013年]

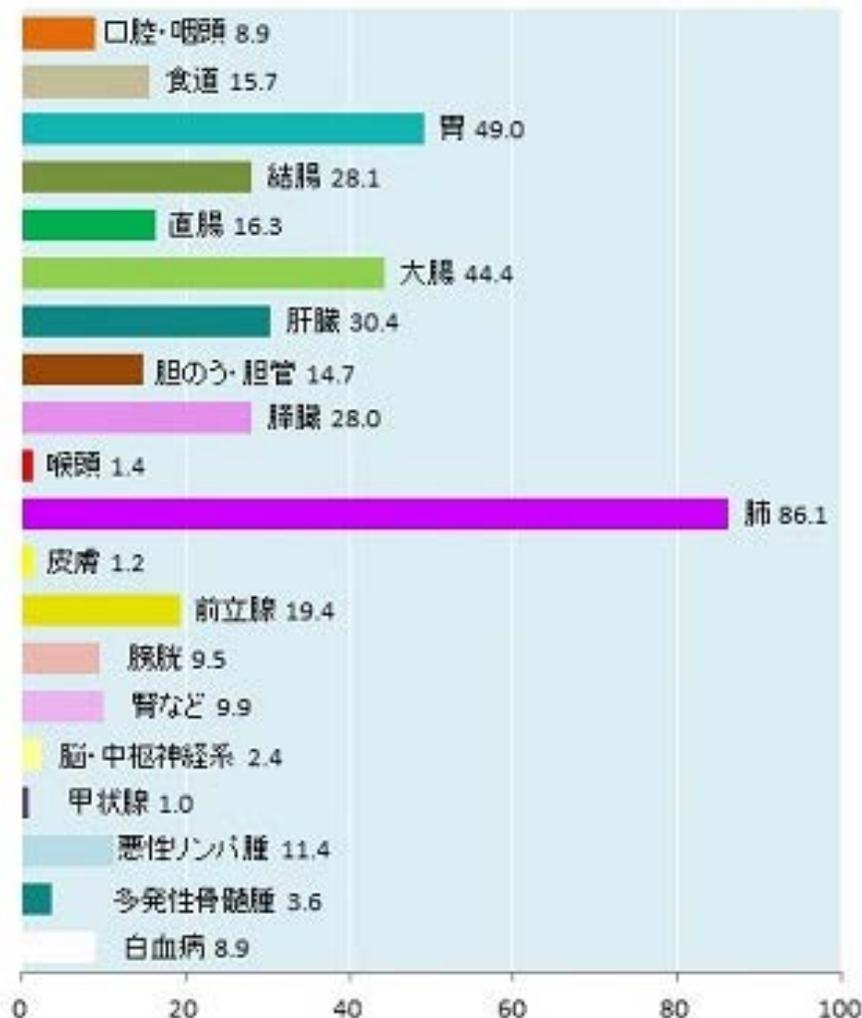


人口10万人対



資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services,
National Cancer Center, Japan

部位別がん死亡率
(全年齢)
[男性 2016年]



資料：国立がん研究センター がん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services,
National Cancer Center, Japan

部位別がん死亡率
(全年齢)
[女性 2016年]



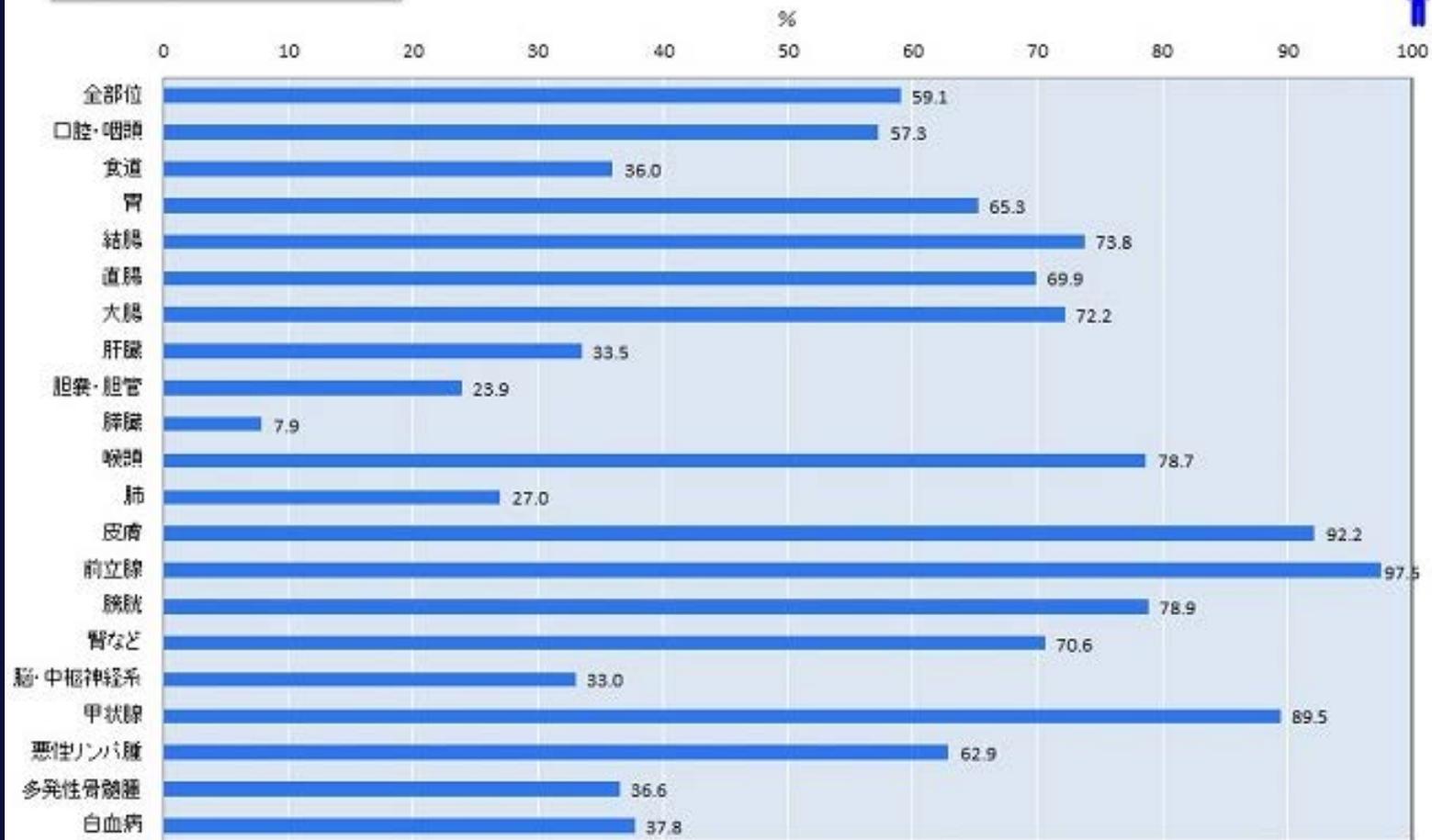
人口10万人対



資料：国立がん研究センター がん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services,
National Cancer Center, Japan

5年生存率

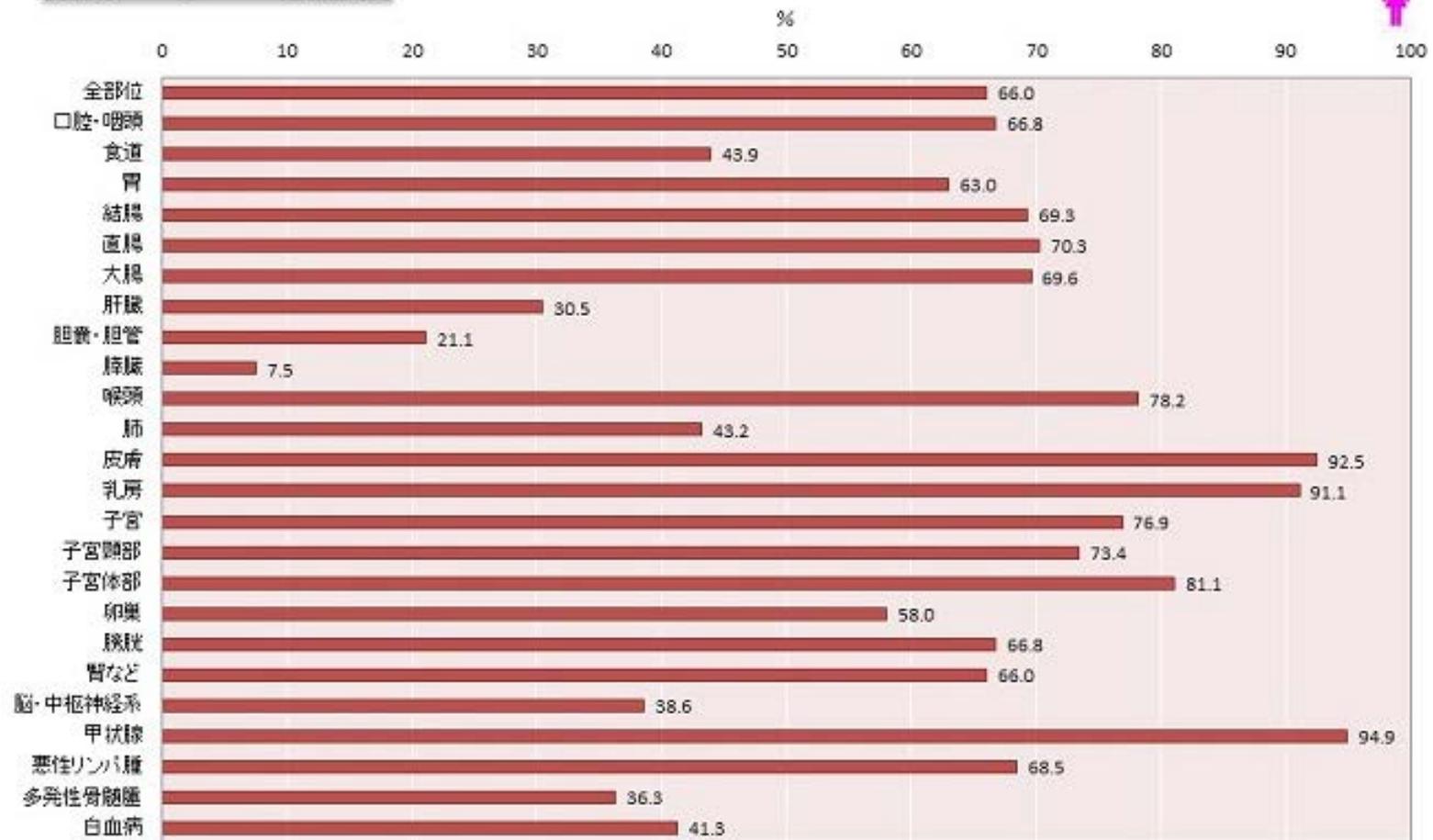
部位別5年相対生存率
[男性 2006年～2008年診断例]



資料: 国立がん研究センター がん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services
National Cancer Center, Japan

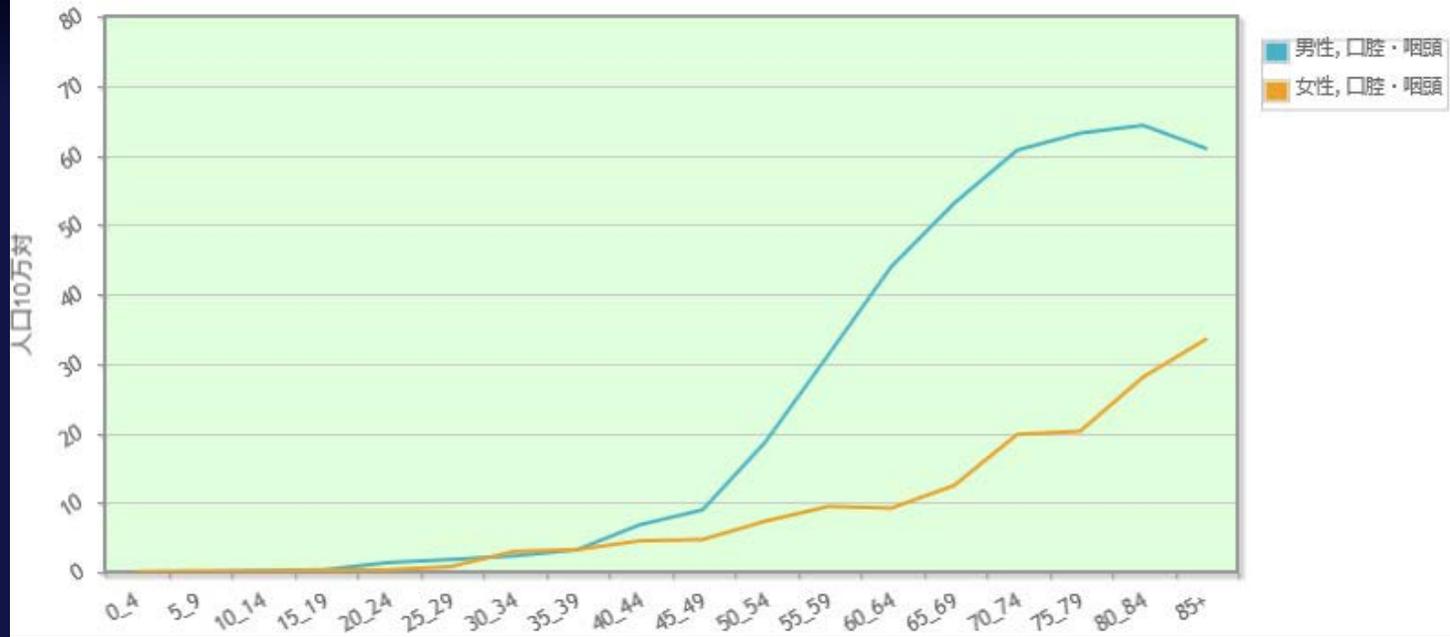
5年生存率

部位別5年相対生存率
[女性 2006年~2009年診断例]

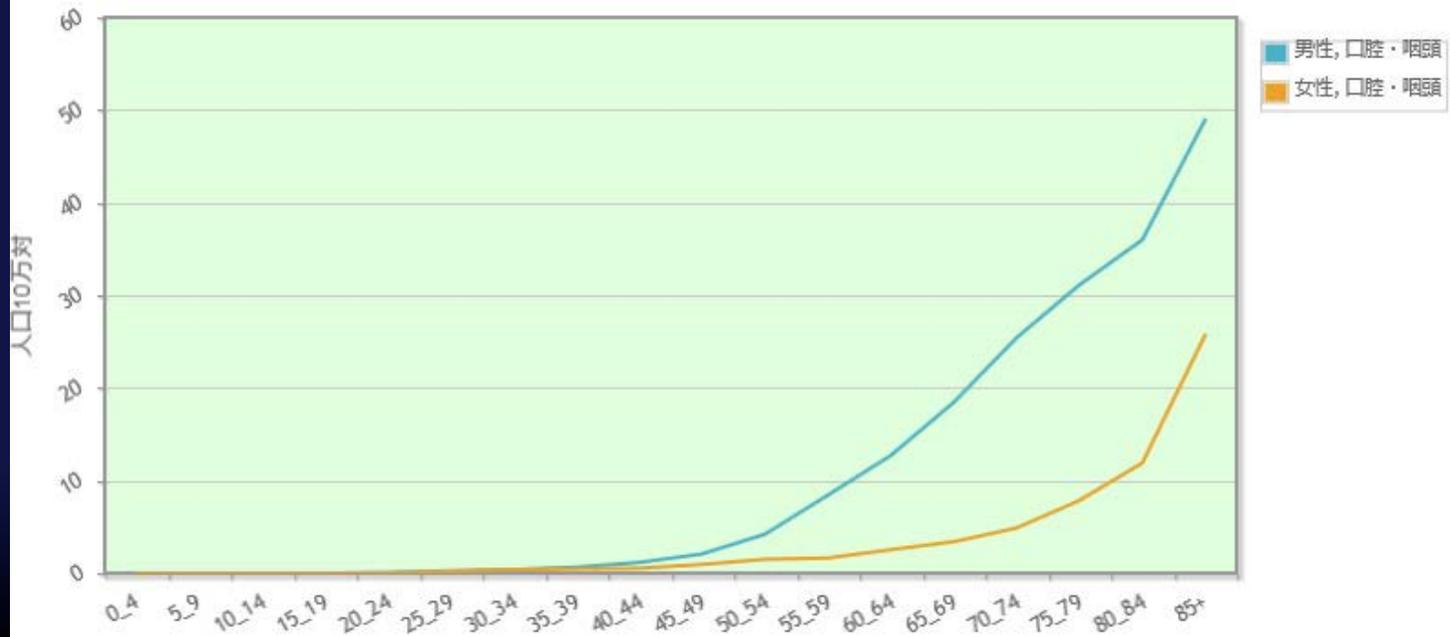


資料: 国立がん研究センター がん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services
National Cancer Center, Japan

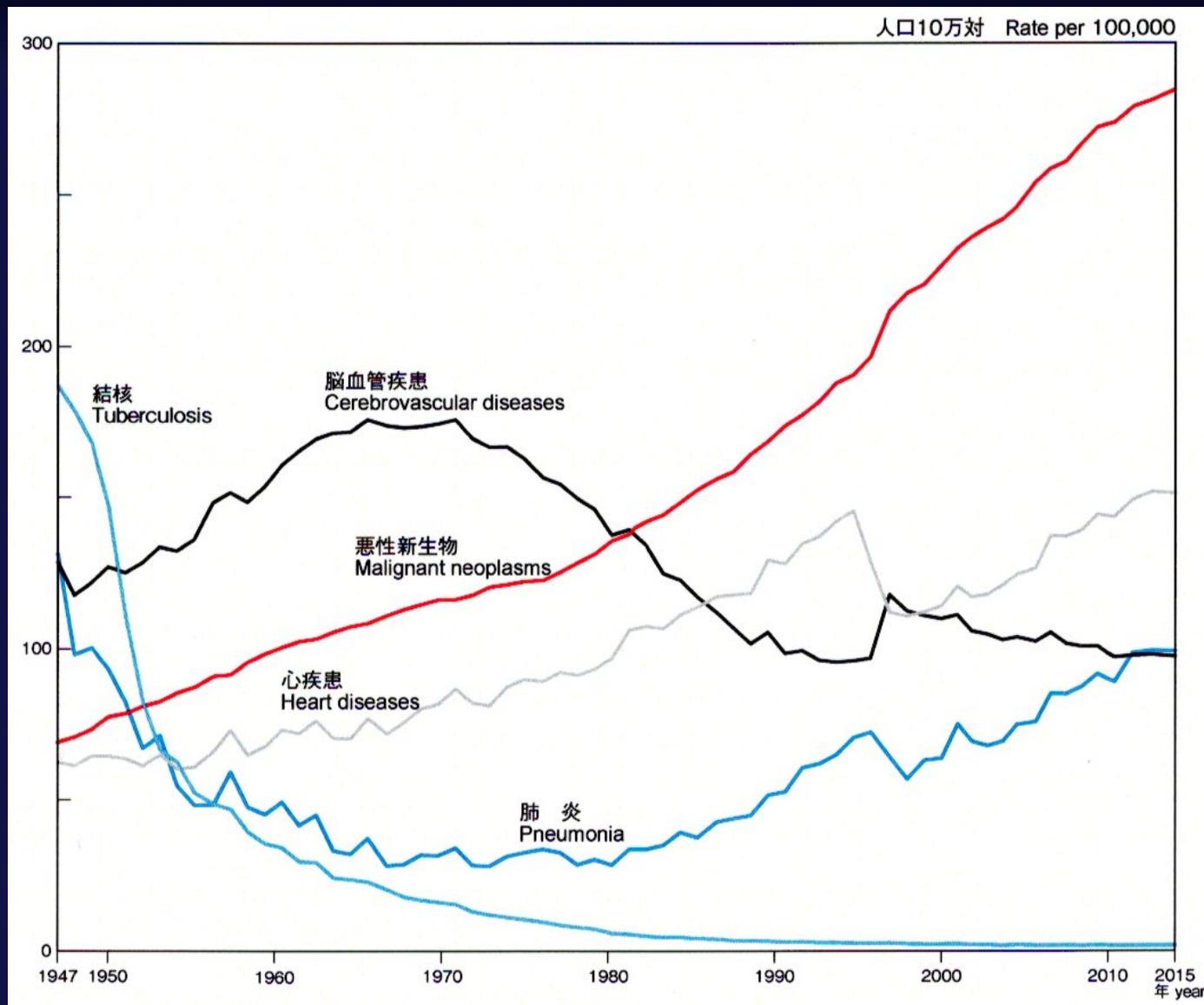
年齢階級別 罹患率(全国推計値)
2013年



年齢階級別 死亡率
2016年



主要死因別死亡者数の推移



がんの患者さんは年々増加している。生存率も年々高くなってきている。

すなわち、癌の治療開始、闘病中、治療後の患者は増加する。

日本人の「がん」について：まとめ

日本人は高齢者の増加とともに、がんに罹患する人も年々増加する傾向にある。また、口腔がんも同じように年々増加している。

生涯でがんに罹患する確率は、男性62%（3人に2人）、女性46%（2人に1人）。生涯でがんが原因で死亡する確率は、男性25%（4人に1人）、女性16%（6人に1人）である。

すなわち、がん治療を行っている人、がんが治癒した人（いわゆる、がんサバイバー）、がんが原因で亡くなる人（緩和治療を行っている人）も増える。従って、がん患者に歯科医療従事者がかかわる機会も増えている。